

課せられた使命 ～ この時のため ～

2024年2月1日『新渡戸稲造記念センター』に向かう(画像)。2003年に初版『われ21世紀の新渡戸とならん』、2018年に新訂版、2019年4月には 英語版『I Want to Be the 21 st Century Inazo Nitobe』が発行されることになった(画像)。タイミング的に2019年は「新渡戸稲造記念センター長」就任記念ともなった。驚きである。人知を超えて、時が進んでいることを痛感する日々である。ここに、『新渡戸稲造記念センターの開設』(2019年)の歴史的意義があらう！

『目的は高い理想に置き、それに到達する道は臨機応変に取るべし』(新渡戸稲造:1862-1933) & 『古いものには、まだ再活用される要素があるのである』(内村鑑三:1861-1930)の教訓が今に生きる。今日の『日本国に課せられた使命＝新渡戸稲造&内村鑑三の後世への最大遺物』は、人類の共通のテーマである『医療』を通して具現化されよう。『最も必要なことは、常に志を忘れないよう心にかけて記憶することである』(新渡戸稲造)。

『生活環境や 言葉が違ってても 心が通えば友達であり、心が通じ合う人と 出会うことが 人間の一番の楽しみである。』(新渡戸稲造)を体験する日々でもある。人間はお節介をやいてもらいたい生物である。でも『余計なお節介』は嫌である。『偉大なるお節介』とは、他人の必要に共感することであり、『余計なお節介』&『偉大なるお節介』の微妙な違いとその是非の考察がこれからの大きな課題となる。また、他の人々に注意を向けるには、『暇げな風貌』が必要であると考え。『暇げな風貌』&『偉大なるお節介』は、『悠々と謙虚を生む』ことであろう。『偉大なるお節介症候群』が蔓延化すれば、如何に、『悩める人々の慰め』となろう。新渡戸稲造は【『最も剛毅なる者は最も柔和なる者であり、愛ある者は勇敢なるものである』とは普遍的に真理である。】と述べている。

【役割意識と使命感 ～ 『新しい自分の発見 & 他人の理解を深める』～】である。これこそ、『自分の力が 人に役に立つと思うときは 進んでやれ』(新渡戸稲造)であろう。【もしかすると、この時のため(旧約聖書 エステル記 4 章 14 節)】を実感する日々である。



東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来

後援: 一般社団法人 がん哲学外来

東京医療別館内 3階

「新渡戸稲造記念センター」にて

樋野興夫センター長による「がん哲学外来」
を行っております。

「がん哲学外来」は、がんに関わる様々な
悩みを対話を介して解消する外来です。



樋野興夫
一般社団法人 がん哲学外来名誉理事長
新渡戸稲造記念センター長

外来は予約制で1回あたり約50分(1日4組まで)。外来には費用はかかりません。
患者ご本人でも、ご家族の方でもお申込みができます。

※当事業は東京医療生活協同組合の組合員の方を対象にしております。
東京都内にご住所がある方、または東京都内の企業に勤務されている方であれば、
どなたでも組合への加入の資格があります。
お手続きは出資申込書の記入・出資金(1口200円、5口1,000円より)となります。
ご希望の方は渉外・広報課までご連絡ください。

～開催予定～

2/1(木) 2/5(月) 2/6(火) 2/15(木)
2/28(水) 3/4(月) 3/6(水) 3/7(木)
3/11(月) 3/13(水) 3/19(火)

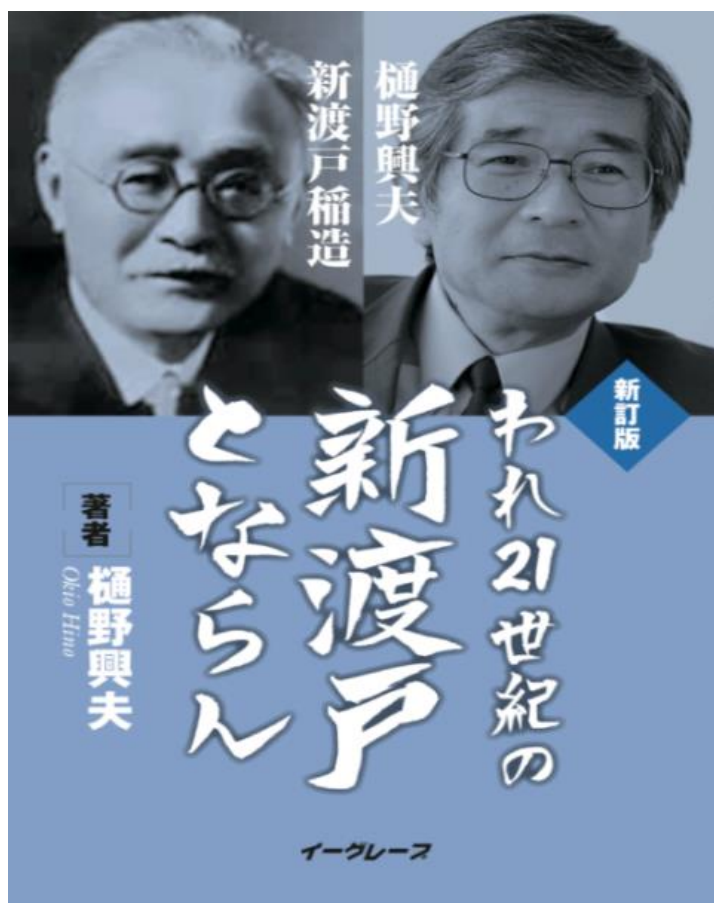
予約お申込み先(電話のみでの対応となります)

(※原則前日の16:30で締切となります。当日は応相談)

入退院管理・患者支援センター

03-3382-1507(9:00～16:30)





I Want to Be the 21st Century NITOBE Inazō



Okio Hino, M.D., Ph.D.